

I 人口の現状分析

ー総人口の推移ー

- 福島県の人口は、2024年(令和6年)10月現在で約**174万人**となっており、1998年の214万人をピークに減少が続いている。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、現状のまま推移した場合、県の人口は、**2040年(令和22年)に約145万人**になると推計される。

ー人口動向(自然動態・社会動態)ー

- 出生・死亡の増減(自然動態)は、2003年(平成15年)以降、死亡数が出生数を上回って推移し、自然減少の幅が拡大している。加えて、未婚化、晩婚化の傾向が見られ、出生数は2022年に過去初めて1万人を割り、2023年は9,019人となった。
- 転入・転出の状況(社会動態)は、男女ともに15～29歳、特に20～24歳の就職期に転出超過が多く見られ、2023年(令和5年)の20～24歳の女性は、1,860人の転出超過となり男性の1.4倍となった。

ー人口減少が地域に与える影響ー

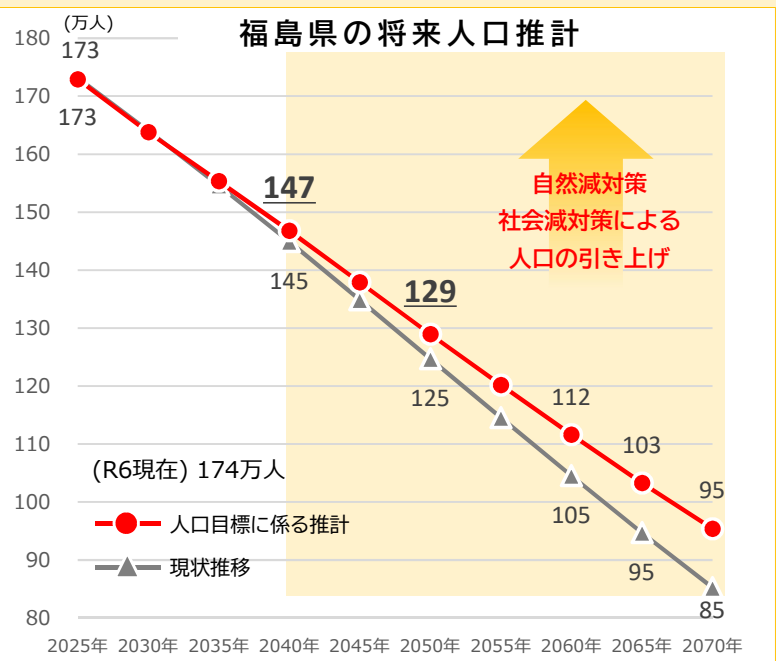
- 地域経済では、就業者は更に減少すると想定され、人手不足が進み、さらに、消費者減少により消費市場が縮小するなど、経済の活力低下が懸念される。
- 地域社会では、子どもや若者の減少に伴い、学校や地域コミュニティの維持が難しくなるほか、医療・介護といった社会保障など様々な分野で従来の水準維持が困難となるおそれがある。

II 人口の将来展望

1 将来展望に係るアンケート(概要)

結婚・出産・子育て 『結婚・子育てに対する県民の希望と幸福度調査』 県内20～49歳の男女を対象に、結婚・出産・子育てに関する考えや希望などを調査	若者 『令和6年 こどもまんなかアンケート』 県内小学生・中学生・高校生の男女を対象に、自身を取り巻く環境への評価・考えなどを調査	『首都圏在住の本県出身若年層へのアンケート調査』 県内出身で首都圏在住の18～34歳の男女を対象に、福島での就職、転職、Uターン等への考えなどを調査	企業 『福島県内企業アンケート調査』 県内企業を対象に、若年女性の採用や、女性活躍への取組や考えなどを調査
--	--	---	--

2 人口目標



推計の条件	●自然動態：2040年(令和22年)に 福島県民の希望出生率1.51 を実現 ●社会動態：2030年(令和12年)に 社会動態±ゼロ を実現
上記条件が実現した場合の見通し	福島県の人口は 2040年(令和22年)に147万人程度 2050年(令和32年)に129万人程度 となる見通し

2040年(令和22年)に福島県総人口150万人程度の維持を目指す

人口目標の実現を目指し、地方創生・人口減少対策を総合的に推進するための具体的な考え方や施策として「**福島県次期総合戦略**」を年度内に策定